

くらしサポ ニュース ^{NO.} 71

発行：地域福祉相談支援センター

2020/9/01

くらしサポーターは 組合員同士の支え合い

8月 事例紹介

①さいたま市で90歳になる方が病院から退院しました。サポーターがお掃除の援助を再開しようと訪ねたところ、具合が悪そうにしていました。すぐにコーディネーターを通してケアマネさんに連絡してもらいました。その後、施設のショートステイを利用することが出来ました。お掃除の援助にとどまらず、見守りの役割も果たした事例だったと関係者で振り返りました。

②出産後の援助依頼が再びありました。新型コロナ感染拡大の影響で「実家に帰りたいが、帰れない」「親に来てもらいたいが呼べない」状況の中で、近くにいる組合員に援助をお願いした事例でした。

組合員さん同士だから助け合える。ちょっとしたお手伝いが大きな心の支え合いになっています。



草取りの休止について

8～9月は熱中症予防の為、草取りの依頼は原則休止させて頂いています。ご理解とご協力をお願いします。

県西地域、川口市 コーディネーター会議の報告

8月5日、ウエスタ川越で県西地域のコーディネーター会議がひらかれました。「サポーターによっては登録項目以外でも引き受けてくれる場合があるので、サポーターの意思確認と新規開拓は大切」「利用者とサポーターをマッチさせるには地図落としが欠かせない」など、たくさんの意見やご苦労などの情報共有を行いました。

8月6日には、川口のコーディネーター会議が開かれました。新型コロナによる活動の制限がある中で、くらしサポを活発にする



ための課題について意見交換をしました。今後の活動に向け、利用者の声などを集約することにしました。

「くらしサポ」活動にあたって 感染予防の徹底を！

- 利用者、援助者ともに対面するときにはマスクを着用しましょう。
- 利用者・家族、援助者に発熱や風邪の症状がある場合は、援助を延期します。
- 援助活動の際には、密接、密閉にならないようにし、とくに換気には気を付けましょう。
- 援助活動前には、手洗いを実施。

くらしサポーター活動地域（14自治体）

川口市、川越市、さいたま市、所沢市、熊谷市、ふじみ野市、富士見市、上尾市、草加市、桶川市、秩父市、朝霞市、飯能市、狭山市

 医療生協さいたま

地域福祉相談支援センター/くらしサポーター事務局

直通電話 048-296-8692

川口市木曾呂1317（ふれあい会館2F）FAX 048(294)1490

午前9時～午後5時（月曜日～金曜日）